

私たちには、 何ができるのか？

-ヤングケアラー当事者の立場から支援を考える-

「ヤングケアラー」という家庭内で家族の世話や介護を日常的に担っている子どもたちは20人に1人いると言われています。しかし、その多くは負担が大きくなっても自身からSOSを発することが難しい状況にあります。

教育・医療・福祉などの現場では、これまでヤングケアラーの存在を十分に把握することができずにきました。今こそヤングケアラー当事者の声に耳を傾ける必要があります。

ヤングケアラー当事者の立場から、どのような支援が求められているのかをお話いただき、ソーシャルワークの現場から見えてきた課題とこれからの支援のあり方を考えます。

2022年
11月23日

(水・祝)

10:00~

16:30

■ 第1部 特別講演「祖母と母と過ごした時間」

川寄 大介 氏 NHK等にて、元ヤングケアラー当事者としてのケア経験を話される。ふうせんの会運営委員

■ 第2部 基調講演「ヤングケアラー支援の動向と必要な支援」

堀越 栄子 氏 一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事

日本女子大学名誉教授。認定NPO法人さいたまNPOセンター代表理事。埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議委員。日本女子大学で教育研究に携わりながら、1980年代より地元のさいたま市、埼玉県において地域の暮らしやまちづくりの活動を続ける。2010年には連盟の設立に加わり、ケアラー全国調査、ヤングケアラー自治体調査、政策提言を行う。



■ 第3部 シンポジウム「ヤングケアラー当事者の立場から支援を考える」

黒光 さおり 氏 スクールソーシャルワーカー・社会福祉士・公認心理師

辻 幸志 氏 神戸市こども・若者ケアラー交流・情報交換の場「ふうのひろば」総括コーディネーター (NPO法人こうべユースネット理事長)

中山 貴之 氏 兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口統括 (一般社団法人兵庫県社会福祉士会事務局次長)

【参加方法】会場>神戸市中央区文化センター(11階会議室) 定員:50名
オンライン>Zoom ミーティングを使用したオンライン 定員:200名

【参加費】2,000円/主催5団体会員 3,000円/一般

主催5団体:兵庫県社会福祉士会・兵庫県介護福祉士会・兵庫県精神保健福祉士協会、兵庫県介護支援専門員協会・兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

【申込】10月31日(月)までに下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/ghmU262DdYZeo7739>

※後日視聴(オンデマンド配信)予定

【問い合わせ】兵庫県社会福祉士会事務局 078-265-1330

【後援】一般社団法人日本ケアラー連盟

